

夢想家の失敗要因	分岐点	起業家の成功要因
足が地に着いていない妄想のような夢に酔う 自分の現実を直視せず、現実逃避の傾向がある	<b>人間の特徴</b>	常に志の高い理想を胸に秘めている 現状に留まりたくなく上昇志向の傾向がある
「いまより豊かな生活をしたい」 そのためには「楽に金を儲けたい」と考えて、 開業しようとする。	<b>生活の姿勢</b> <b>人生観</b>	「自分の人生を充実させるため」に 「高い目標に挑戦したい」と考えて 起業しようとする。
自分の<金儲け>だけが目的 会社はそのための手段でしかない	<b>個人的な欲</b>	自分の構想を実現させたい <金儲け>はその結果でしかない
「こんな会社は早く辞めたい」 という<退職動機>しかない	<b>動機</b>	「この事業をしたい」という明確な <起業動機>がある
<サラリーマン根性>が抜けずに 依存心が強く自立心が弱い	<b>卒劣／脱劣</b>	<サラリーマン根性>を卒業し、 (起業家精神)に溢れている
「会社を起こす」というだけで <自分起こし>の視点がない	<b>自分起こし</b>	「自分を成長させよう」という <自分起こし>の視点がある
何をしていたか分からない	<b>事業プラン</b>	明確なプランがある
実現不可能なことを平気で書く	<b>事業計画書</b>	実行可能な行動計画を作成する
身近な人からの協力も得られない	<b>協力</b>	周囲の人たちからの協力を得る
「資金がないからできない」 「資金が多ければ成功する」と考えている	<b>開業資金</b>	「プランが良ければ資金は集まる」 「資金の少なさは知恵で補う」と考えている
「成功するという自信」がない	<b>勇気／自信</b>	「挑戦する勇気」がある
「失敗したらどうしよう」という不安が先に 立ってしまう → だから行動しない 「人の真似」「成功例の後追い」が多い 「これなら楽ができる」というものを選ぶ	<b>行動傾向</b>	「成功させるにはどうするか」を考えて 行動している 「新しいこと」「困難なこと」にあえて 挑戦して試行錯誤していく
実際の自分よりも良く見せようとする (経済状態、能力、評価、見栄え、地位など)	<b>人からの評価</b>	ありのままの自分を見せようとする 「恥ずかしくてもそれが現実」という意識
始めそうでも結局は「始めない」	<b>始める</b>	最終的には実際に「始める」
せっかく始めても「続かない」	<b>続ける</b>	成功するまで諦めずに「続ける」
続けていても「成長しない」	<b>成長する</b>	続けるからには「成長していく」
他に対する依存心が強いので組織にしがみつく 仕事上で困ったときはいつも誰かに依存する	<b>依存心／自立心</b>	自立心が強いので誰にも依存しようとは思わない 人を動かすことはあっても依存はしない。
失敗は「やっぱり」と思われる 二度と再起できない「倒れ方」を	<b>失敗</b>	失敗は周囲に「残念」がられる 再起できる「倒れ方」をする
「志」は低い(自分のことだけ、目先のことだけ)	<b>低い志／高い志</b>	「志」は高い(社会全体、遠い将来も視野に)
一度の失敗で意気消沈する	<b>再起／挫折</b>	何度でも挫けずに再起する